

俳句・短歌を募集

6日必着

作品には、ふりがなをつけ、住所
氏名・電話番号を明記して
みらい創造課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

短 歌（投稿順）

南風秩父盆地を潤う山花粉にかくれほんやりねむる
春風四方の杉を揺さぶつて黄な粉の様な花粉散蒔く
七七忌の墓参の列ゆく畔の径農に精出す面影浮かぶ
春スキー雪解けの野にふきのとうリフトの上ではくしや
美の山のサンクチュアリの散策路さわやかな風鳥のさえ
何氣無いいつもの生活至福なり戦争の中苦しむ外つ国
ままならぬ今生の定めと知り乍ら思ひ巡らすことの数々
春待ちて三寒四温絶えぬいて老いた体に柔らかな風
俺達は自分の国を守れるか明日は我が身の日本國
戦争の惨き映像に涙せり停戦あれと願い止まざり
ゲルニカの絵ハガキ飾りウクライナの平和を祈る毎朝祈
卒業と入学祝ふ佳き日なり孫二人とは久々に会ふ
血の滲む平和をよんだ兜太の句いだきて進む新しい道
春彼岸ともる線香見つめつつ日々ありしこと夫に語らむ
改札のICとなり財布なき鉄道旅行の心も軽し
主逝きて無人となりたる家の屋根それより高く花は咲きたり

下日野沢 皆野 喜一
三沢 皆野 太幡
皆野 萩原 真下
三沢 新井 杏子
皆野 村田ハツ代 大澤
皆野 石原 民子
皆野 根岸 達也
皆野 櫻井 豊子
皆野 早苗 下日野沢
皆野 万亀 樺間
皆野 太幡琉美花
国神 打木 昭廣
皆野 藤原マキ子
新井 節子 下田野

1歳になる赤ちゃんを 募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生日月の前月10日までに、みらい創造窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

6月号の締め切りは、
5月10日(火)です。

問合せ みらい創造課
政策推進担当
☎26-7334

俳句 榎本順江 選 投稿数 15 句

鯉の鱗ゆつたり動き春兆す	下日野沢	浅見	豊子
平和乱す国々悲惨さ花の冷え	皆野	根岸	詩子
戦鬪に非情荒ぶる春悲し	国神	藤原マキ子	
迎え入れ春泥拭う猫の足			

皆野中	小菅恭青史	皆野 桂原 初恵	三沢 新井 民子	春耕の人をちこちに平和かな
皆野	大輪の牡丹を選びて仏壇へ	皆野 桂原 初恵	皆野 桂原 初恵	大輪の牡丹を選びて仏壇へ
皆野	コロナ禍やふるさと梅の香り満つ	皆野 桂原 初恵	皆野 桂原 初恵	コロナ禍やふるさと梅の香り満つ
皆野	家族連れ配色映える花彼岸	戸塚喜久雄	戸塚喜久雄	家族連れ配色映える花彼岸

新しき制服に触る花の風
（評）小学二年生の時から当欄へ投句を続いている琉美花さん。晴れて高校生になりました。新しい制服が溢れる希望や期待を包んでいます。満開の桜の花が送つてくれるやさしい風、そつと触れ応援しているよう。良い高校生活でありますように。二句目、日毎に萌黄色風に変わつて行く山々、大空にはとんびが輪を描いています。落ちてしまわないかと思う程、時々の羽搏きやピーヒヨロヒヨロの鳴き声、見入つてしまう峠の風景の中に作者はいます。三句目、池の底でじつと春を待つていた鯉やつと春の気配に鰓をちょっと動かし始めました。池の中を悠々と泳ぐのももうすぐです。

新しき制服に触る花の風

皆野 太幡 琉美花

今月の題字

皆野中3年

田端 悠人さん

児童の見守り放送 皆野小6年

新井 風優さん

1歳のお誕生日おめでとう

あおい
蒼依ちゃん
親鼻区
小林 主英さん
智子さん



お兄ちゃん大好き蒼依ちゃん!
元気で優しい子に育ってね(^^♪